別記１

専　門　試　験　出　題　分　野　一　覧

専門試験（多肢選択式）

（試験の区分）	（出　題　分　野）
行　政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法（総則及び物権）、民法（債権、親族及び相続）、ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学・経済事情、経営学、国際関係、社会学、心理学、教育学、英語（基礎）及び英語（一般）のうち、受験者の選択する８科目
デジタル・電気・電子	次の１及び２に掲げる科目 １　工学に関する基礎、情報・通信工学（理論）、電磁気学、電気回路、電気計測・制御、電気機器及び電力工学 ２　受験者の選択する次の⑴又は⑵のいずれかに掲げる科目 ⑴　情報工学（プログラミング） ⑵　電子工学、電子回路
機　械	工学に関する基礎、材料力学、機械力学、流体力学、熱工学、機械設計、機械材料及び機械工作
土　木	工学に関する基礎、構造力学（土木）、水理学、土質力学、測量、土木材料、土木設計、土木施工、土木計画、環境工学（土木）及び衛生工学
建　築	工学に関する基礎、構造力学（建築）、建築構造、建築材料、建築施工、環境工学（建築）、建築設備、建築史、建築計画、建築法規及び都市計画
物　理	物理、応用物理及び地球物理
化　学	数学、物理、物理化学、分析化学、無機化学、有機化学、生物化学、工業化学及び化学工学
農　学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥料学・植物生理学、畜産一般及び農業経済一般
農業農村工学	数学、水理学、応用力学、土壌物理、土質力学、測量、農業水利学、土地改良、農村環境整備、農業造構、材料・施工、農業機械及び農学一般
林　学	林業政策、林業経営学、造林学、林業工学、林産一般及び砂防工学

専門試験（記述式）

（試験の区分）	（出　題　分　野）
デジタル・電気・電子	情報工学・通信・電気・電子に関連する領域
機　械	機械工学に関連する領域
土　木	土木工学に関連する領域
建　築	建築設計製図
物　理	物理に関連する領域
化　学	化学に関連する領域
農　学	農学に関連する領域
農業農村工学	農業農村工学に関連する領域
林　学	林学に関連する領域

別記２

試験の区分「行政」及び「教養」の場合は、採用を希望する地域（試験の区分）に対応する第２次試験地で受験する。

試験の区分「行政」及び「教養」以外の場合は、第１次試験を受験した都市に対応した第２次試験地で受験する。

１．試験の区分「行政」

試験の区分	第１次試験地	第２次試験地
行政北海道地域	札幌市　盛岡市	札幌市
行政東北地域	仙台市　秋田市 さいたま市　千葉市	仙台市
行政関東甲信越地域	東京都　新潟市 長野市　静岡市	さいたま市　東京都
行政東海北陸地域	名古屋市　金沢市	名古屋市　金沢市
行政近畿地域	京都市　大阪市	大阪市
行政中国地域	神戸市　松江市 岡山市　広島市	広島市
行政四国地域	山口市　高松市 松山市　福岡市	高松市
行政九州地域	北九州市　熊本市	福岡市
行政沖縄地域	鹿児島市　那覇市	那覇市

㈱　試験の区分「行政関東甲信越地域」及び「行政東海北陸地域」の第２次試験地については、以下のとおりとする。

・「行政関東甲信越地域」　さいたま市又は東京都のいずれかを指定

・「行政東海北陸地域」　名古屋市又は金沢市のいずれかを指定

２．試験の区分「デジタル・電気・電子」、「機械」、「土木」、「建築」、「物理」及び「化学」

試験の区分	第１次試験地	第２次試験地
デジタル・電気・電子 機　械 土　木 建　築 物　理 化　学	札幌市	札幌市
	盛岡市　仙台市 秋田市	仙台市
	さいたま市　千葉市 東京都　新潟市 長野市	さいたま市　東京都
	静岡市　名古屋市 金沢市	名古屋市　金沢市
	京都市　大阪市 神戸市	大阪市
	松江市　岡山市 広島市　山口市	広島市
	高松市　松山市	高松市